

2013.2.6
コチ コンサルティング

中国では法規の施行後、運用上で発生する課題に対応し、条例や通達が出されることが多々あります。2012年4月施行の《女性職員労働保護特別規定》では多々運用上不明確な点がありましたが、上海市では1月19日に実施通達が出されました。

本号では産休期間の生活費補填に関する新通達、12月28日公布の労働契約法改正案（労務派遣関連法規改正）のその後の動向、準備に関してご報告します。コラムでは春節明けのマネジメントの“頭痛”紅包の実態をご紹介します。

内容 【人事・労務情報】
 ■ 出産休暇期間の生活費手当等の再確認
 ■ 労働派遣法規改正の動向、準備
 【コラム】
 中国式お年玉“紅包”



人事・労務情報

- 出産休暇期間の生活費手当等の再確認-《女性従業員労働保護特別規定》貫徹実施通知（上海）-
2012年4月28日より《女性職員労働保護特別規定》が施行されましたが、法解説・運用に関して不明確であった点につき、上海市では1月19日に通知（沪府発(2013)5号）が出されました。

産休期間

- * 《女性職員労働保護特別規定》 <http://cochicon.com/2-6-1-1-14/> 参照
- * 産休期間：<http://cochicon.com/2-4-10/> 参照

産休期間の賃金（生活費補助）（上海）

- ① 上海市都市生育保険加入の女性従業員が出産または流産の場合の生育生活費補填の計算

$$\text{所属企業の前年度平均賃金} \div 30 \times \text{産休日数}$$
 上記は上海市都市生育保険基金より支給される。Navi①
 * 産休期間の賃金：<http://cochicon.com/2-6-1-1-14/> 参照
- ② ①の生育生活費補填金額が当該女性従業員の出産前賃金を下回る場合は就労先企業が補填する。
- ③ 上海市都市生育保険に未加入の女性従業員が出産・流産の場合の生活費補填は、当該女性従業員の産前賃金を標準とし、法規で規定される産休日数に従い、就労先企業が支給する。Navi②

NAVI ① 生育保険から支給される産休期間中の生活費補填は雇用元企業の平均賃金額（派遣社員の場合は派遣元企業の平均賃金）でかつ勤務地域の平均賃金の3倍が上限とされています。会社補填が必要となるのは、本人の給与が会社平均賃金を超えた場合、市平均賃金を超えた場合となります。現時点では上海市平均賃金の3倍は12,993元/月を超える場合です。派遣社員の場合は、派遣会社の平均賃金を超える部分の補填は派遣先企業の負担とされています。

NAVI ② 上海市新三險（旧総合保険からの移行措置）は生育保険がありません。新三險の社員の場合は産休期間の生育生活費補填は企業負担となります。

■ 労働派遣法規改正の動向、準備

改正労働契約法の労働派遣に関わる新規定では、公布日（2012年12月28日）以前に締結された労働派遣契約は契約満了まで継続可能とされています。現時点で締結された労働派遣契約の取り扱いは不明確ですが、大手労働派遣会社では現時点でも新規の派遣契約を締結しています。

NAVI 直接雇用に移行した場合は、本人の同意がない場合は、期間の定めのある労働契約締結は2回までとなることを考慮し、現時点で労働派遣を利用する場合でも、締結する労働契約の期間は労働派遣から直接雇用への移行時に持ち越すこととなりますので契約期間を慎重に検討する必要があります。

NAVI 雇用形態選定、直接雇用への移行方法選定等の戦略を策定しておく時期です。長期就労者が多い日系企業では経済補償金が高額となる場合があり、費用検証は戦略策定のための重要事項です。経済補償金の対象期間は最大12年とすると規定されていますが、2008年1月1日の労働契約法施行以前で12年を最大、以後で12年を最大として計算するというのが解釈です。

長期就労者の経済補償金（上海の場合）：

1994年4月1日入社社員、2012年度本人平均賃金15,000円の場合

1994年4月1日～2007年12月31日 就労期間13年9ヶ月 $15,000 \times 12 = 180,000$ 円

2008年1月1日～2013年6月30日 就労期間5年6ヶ月 $12,993(*1) \times 6(*2) = 77,958$ 円

*1) 12,993円は2011年度の上海市平均賃金です。2012年度も10%程度の上昇が予想されます。

*2) 上海市では2008年1月1日（労働契約法施行後）は半年以上は1年として計算されます。

コラム

<中国式お年玉 “紅包” >

春節を迎えるにあたり、社員に紅包を渡すのか？いくらが妥当だろう？と頭を悩ませる総経理も多いのではないのでしょうか？金額についてのご相談が当社にも寄せられています。

“紅包”（Hong Bao）は結婚のご祝儀、出産祝い、誕生日祝い、事業や学業のお祝いなど様々なお祝い金を指します。この時期の“紅包”は、日本でいうお年玉のことを指し、紅い封筒に新札を入れて新年の祝福と幸運を託します。

起源は明清朝時代に、春節に赤い縄をつけた硬貨を子供に与えたことに発しており、その後、縁起の良い紅の包みでお金を贈答することにより“紅包”になったようです。

日本では、お年玉は、大人が子供に与えるものですが、中国では、家族関係や年齢に関係なく「今年もどうぞよろしく」という思いを込めて子供以外にも、従業員に配る風習があります。

会社で渡す紅包は、一般的に経営者のポケットマネーが多いのですが、会社行事として会社の福利費から捻出する場合や工会から渡す場合もあります。金額は各地域、各職場で様々です。工場従業員には100程度、ホワイトカラーの職場では1000元～2000元程度が一般的な様ですが、従業員規模によって様々です。売り上げ達成還元金とし階層別に金額を変える場合、忘年会の商品を紅包に代え、紅包は出さない場合もあります。

物価高の中国で、1000元以上ないと社員は喜ばない、という意見もちらほらと聞こえますが贈答文化の中国では、金額より風習を大切にすることに意味があると思います。

どうすれば新年から社員のモチベーションを上げられるのか、経営者の悩みは尽きません。

紅包を配る予定の方々はくれぐれも新札のご用意をお忘れなく。